

成田山花御堂灌仏

御釈迦様について

御釈迦様はいつ生まれたの？

三つぐらい説がありますが、日本では紀元前 463 年 4 月 8 日に生まれたとされています。

つい 160 年ぐらい前までは、「実在の人物ではない」という説もありました。

今から 2500 年程前に生まれた人物が、どうして実在の人物だと分かったのでしょうか？

インドがイギリスの植民地であった時、イギリスの駐在武官が北インド地方にあるピプラーワールというところで古いストゥーパ（仏塔）を発掘中に仏舎利（ぶっしやり、釈迦の遺骨のこと）の入った壺を発見したのです。その壺には紀元前 3 世紀頃の文字で「釈迦の遺骨を納めた壺である」というようなことが刻まれていました。これはおそらく本物の仏舎利であろう、と認められた為釈迦は実在の人物であることがほぼ決定されました。

成田山では 4 月 1 日から 8 日まで御釈迦様の花御堂灌仏が行われます。

まず手を合わせ一礼 甘茶は三回かけましょう 最後に手を合わせ一礼

成田山の釈迦堂では、お釈迦さんの誕生日、悟り、遷化を開いた日に下記の催しがあります。

誕生	4 月 8 日	釈迦降誕会	(8 日)
釈迦 悟り	12 月 8 日	釈尊成道会	(8 日)
遷化	2 月 15 日	常楽会御逮夜 (14 日)	常楽会 (釈尊涅槃会) (15 日)

悟りを開いた日の 12 月 8 日は小豆粥の無料接待が受けられます。(先着 500 名)

「仏教の三大聖樹」

1. 釈迦誕生 無憂樹 (ムユウジュ)
2. 釈迦悟り 印度菩提樹 (インドボダイジュ)
3. 釈迦入滅 沙羅双樹 (サラソウジュ)

寝 釈 迦 像 涅 槃 像

35 歳で悟りを開いてから 80 歳で入滅するまでの 45 年間、毎晩 1 時間、この涅槃像の姿で説法をしていたと言われています。

北枕(きたまくら)の由来

頭北面西 (ずほくめんさい)

釈迦が入滅の際、北の方角へ頭を置いて横になったといわれることから来ている。

ワット・ポー (タイ) にある全長 46 メートル、高さ 15 メートルの涅槃仏が有名である。

日本では南蔵院 (なんぞういん) (福岡県篠栗町) の寝釈迦像が有名である。

全長 41m 高さ 11m 重量 約 300 t ブロンズ製では世界一

体内にはミャンマーから頂いた仏舎利が安置されています

御釈迦様が病気の時、母マーヤが天国から薬袋 (やくたい) を投げたが御釈迦様には届かなかった。この事から、私たちが病院で薬を貰うことを**投薬**と言います。